

● 読書感想文コンクール 小学校低学年の部 ●

入選

藤嶋 柚乃 (ふじしま ゆずの) 下柚木小 1年生

作品名：「しあわせおにぎり」を読んで

図 書：しあわせおにぎり

きつねくんとなっちゃんが、おにぎりをつくるときにうたったうたがおもしろかった。

おにぎりをにぎっているかんじが、つたわってくるから。たのしそうだとおもった。

わたしもおにぎりをつくったとき、へんなかたちだったけど、トラックのかたちに見えた。のりをまいてたべたらおいしかった。

きつねくんははじめておにぎりをつくったのにじょうずにつくっていた。なっちゃんときつねくんはうまいんだなとおもった。

おにぎりのいろんなかたちがあって、いいなあ、わたしもつくりたいなあとおもった。

このまえ、えんそくがあったからじぶんでおべんとうのおにぎりをつくってみた。

はじめてじぶんでおべんとうをつくって、すごくいいきぶんだった。いっしょにたべたともだちにすごいといわれてうれしかった。

そのときはしおのおにぎりだった。

わたしはおにぎりにぐをいたことがないので、きつねくんみたいに、まんなかにギュッ、ギュッ、ギュッとぐをいれておにぎりをつくってみたいないとおもった。

